

コロイド&界面科学研究センター

第6回（2022 年）研究討論会 プログラム

【主催】コロイド&界面科学研究センター（CoLLIS）

【後援】信州大学工学部・信州大学みらい産業共創会・国際科学イノベーションセンター・信州
科学技術総合振興センター・基盤研究支援センター・協和界面科学株式会社・世田谷自然食品株
式会社・信州医薬化粧品科学研究会（PHaCOs）・エマルション科学研究会・公益財団法人長野
県産業振興機構長野センター・（公財）ながの観光コンベンションビューロー

【期日】令和 4 年（2022 年）10月20日（木）、21日（金）

【会場】信州大学長野（工学）キャンパス

国際科学イノベーションセンター（AICS）2F セミナースペース、対面&オンライン

*コロナ感染予防のため、会場への収容人数に制限がございます。そのため、大変申し訳ござい
ませんが、発表者以外の会場での聴講は信州大学関係者のみとさせていただきます。その他の方
は、オンラインでご参加をお願いいたします。

○は登壇者

10月20日（木）（1日目）

開場・受付開始：10：00

開会：10：40（酒井俊郎）

一般講演（発表 12 分間＋質疑 8 分間）：10：50～11：50（座長：酒井俊郎）

講演1 10：50～11：10

○小野間春輝¹⁾・小寺孝範^{2,3)}・酒井俊郎^{1,3)}（1）信州大院総合理工, 2）花王株式会社, 3）
信州大工）

「固体基板に付着した油汚れの洗浄機構の解明：界面活性剤の役割」

講演2 11：10～11：30

○中村智哉¹⁾・小寺孝範^{2,3)}・酒井俊郎^{1,3)}（1）信州大院総合理工, 2）花王株式会社, 3）
信州大工）

「界面活性剤を使用しない洗浄技術の開発：バブル水による洗浄」

講演3 11：30～11：50

○徳田将宗¹⁾・酒井俊郎^{1,2)}（1）信州大院総合理工, 2）信州大工）

「樹脂と金属の接合技術の開発：樹脂の金属イオン還元能を利用した金属ナノ粒子の樹脂への埋め込み」

お昼休み：11：50～13：10

一般講演（発表 12 分間＋質疑 8 分間）：13：10～14：10（座長：酒井俊郎）

講演4 13：10～13：30

○長江弥生¹⁾・古瀬あゆみ²⁾・大塚隼人²⁾・Partha Bairi²⁾・Shuwen Wang²⁾・荒井孝義³⁾・酒井俊郎^{1), 4), 5)}・金子克美²⁾（1)信州大院理工, 2)信州大先鋭材料研究所, 3)千葉大院理, 4)信州大院医理工, 5)信州大工）

「分子架橋した酸化グラフェンコロイド集合体の構造と水吸着」

講演5 13：30～13：50

○鈴木泰征¹⁾・佐藤高彰¹⁾（1)信州大繊維）

「カルボキシベタイン及びスルホベタイン系両性界面活性剤が水中で形成する自己組織体の構造物性」

講演6 13：50～14：10

○高橋凜子¹⁾・小倉卓²⁾・佐藤高彰¹⁾（1)信州大繊維, 2)㈱日光ケミカルズ）

「種類及び濃度の異なるポリオール水溶液中で卵黄レシチンバイセルが示す微細構造の評価」

休憩（10分間）

特別講演1（発表50分間＋質疑20分間）：14：20～15：30（座長：酒井俊郎）

宅見 信哉 先生（小林製薬株式会社）

「一般用医薬品の外用製剤設計と製品開発事例」

休憩（10分間）

特別講演2（発表50分間＋質疑20分間）：15：40～16：50（座長：酒井俊郎）

錦織 広昌 先生（信州大学工学部物質化学科）

「チタニアナノ粒子の光触媒機能を利用した表面修飾」

閉会＋写真撮影（1 日目）：17：00（酒井俊郎）

10月21日（金）（2日目）

開場・受付開始：１０：００

開会：１０：４５（酒井俊郎）

一般講演（発表 12 分間＋質疑 8 分間）：１０：５０～１１：５０（座長：酒井俊郎）

講演 7 １０：５０～１１：１０

○鈴木智代花¹⁾・酒井俊郎^{1,2)}（1)信州大院総合理工, 2)信州大工）

「PVA ドライエマルジョンの環境応答性」

講演 8 １１：１０～１１：３０

○金子富安士¹⁾・酒井俊郎^{1,2)}（1)信州大院総合理工, 2)信州大工）

「糖アルコール水溶液の粘度の温度変化：鎖長、濃度、還元の影響」

講演 9 １１：３０～１１：５０

○沖村尚志¹⁾・中山真吾¹⁾（1)KHネオケム株式会社）

「KHネオケム株式会社 ～分岐アルコールの紹介～」

お昼休み：１１：５０～１３：１０

一般講演（発表 12 分間＋質疑 8 分間）：１３：１０～１４：１０（座長：酒井俊郎）

講演 10 １３：１０～１３：３０

○高下晴彰¹⁾・村上良²⁾（1)甲南大学大学院自然科学研究科, 2)甲南大学理工学部）

「TEMPO 酸化セルロースナノファイバーの油/水界面への吸着とエマルジョンの安定化」

講演 11 １３：３０～１３：５０

○大森歩夢¹⁾・酒井俊郎^{1,2)}（1)信州大院総合理工, 2)信州大工）

「炭化水素油と高級アルコールの混合油を分散質とした水中油滴型（O/W）エマルジョンの分散安定性」

講演 12 １３：５０～１４：１０

○渡邊勝¹⁾・武井和音^{2),3)}・酒井俊郎^{1),3)}（1)信州大院総理工, 2)東京フード（株）, 3)信州大工）

「植物油を分散質とした水中油滴型（O/W）エマルジョンの分散安定化機構の解明」

休憩（１０分間）

特別講演 3（発表 50 分間＋質疑 20 分間）：１４：２０～１５：３０（座長：酒井俊郎）

田川 聡美 先生（信州大学工学部物質化学科）

「セルロースナノファイバーの蛍光顕微鏡を用いた可視化と応用」

休憩（１０分間）

特別講演4（発表50分間＋質疑20分間）：15：40～16：50（座長：酒井俊郎）

武井 和音 先生（東京フード株式会社、信州大学）

「乳化剤フリー水中油滴型エマルジョン技術の基礎的知見と実用化への可能性」

閉会＋写真撮影（2日目）：17：00（酒井俊郎）

